

クルクマ

花言葉 | あなたの姿に酔いしれる / 乙女の香り

亜熱帯にかがやく王冠
エキゾチックな美しさを堪能して

プロが伝授!花を長く楽しむアドバイス

- 花色がきれいでシミの出ない、鮮度の良い花を選びましょう。
- 暑さに強いですが、乾燥を嫌うので、霧吹きをこまめにすると良いでしょう。

お家で簡単! 3ステップアレンジ

- ①(画像左のアレンジ)大輪系のクルクマの長さとしち姿を生かし、まずクルクマ2本をやや高低差をつけながら、長めに立たせるように活けます。
- ②器の口元にアンズリウムをあしらって、アレンジの重心を置きます。
- ③ドラセナの葉を背後に活け、全体のバランスを取ります。濃色系の南国の花やグリーンを合わせると、渋カッコいい感じに仕上がります。

熱帯の可憐さと雄々しさと

ウコンでおなじみのショウガ科の植物、原産地では根を香辛料として使います。カップを重ねたような部分は苞で、花はカップの隙間に小さく咲きます。タイ在住の日本人が開発する、可憐なミニタイプやグリーン系の肉厚タイプが日持ちも良く人気。国内では、静岡、愛知、福岡県糸島など温暖な地域で生産が盛んです。



使っている花 ● クルクマ(ラブリーエメラルド)、アンズリウム(チョコ)、ドラセナ(パープルコンパクト)、リュウカデンドロン(ライムブッシュ)